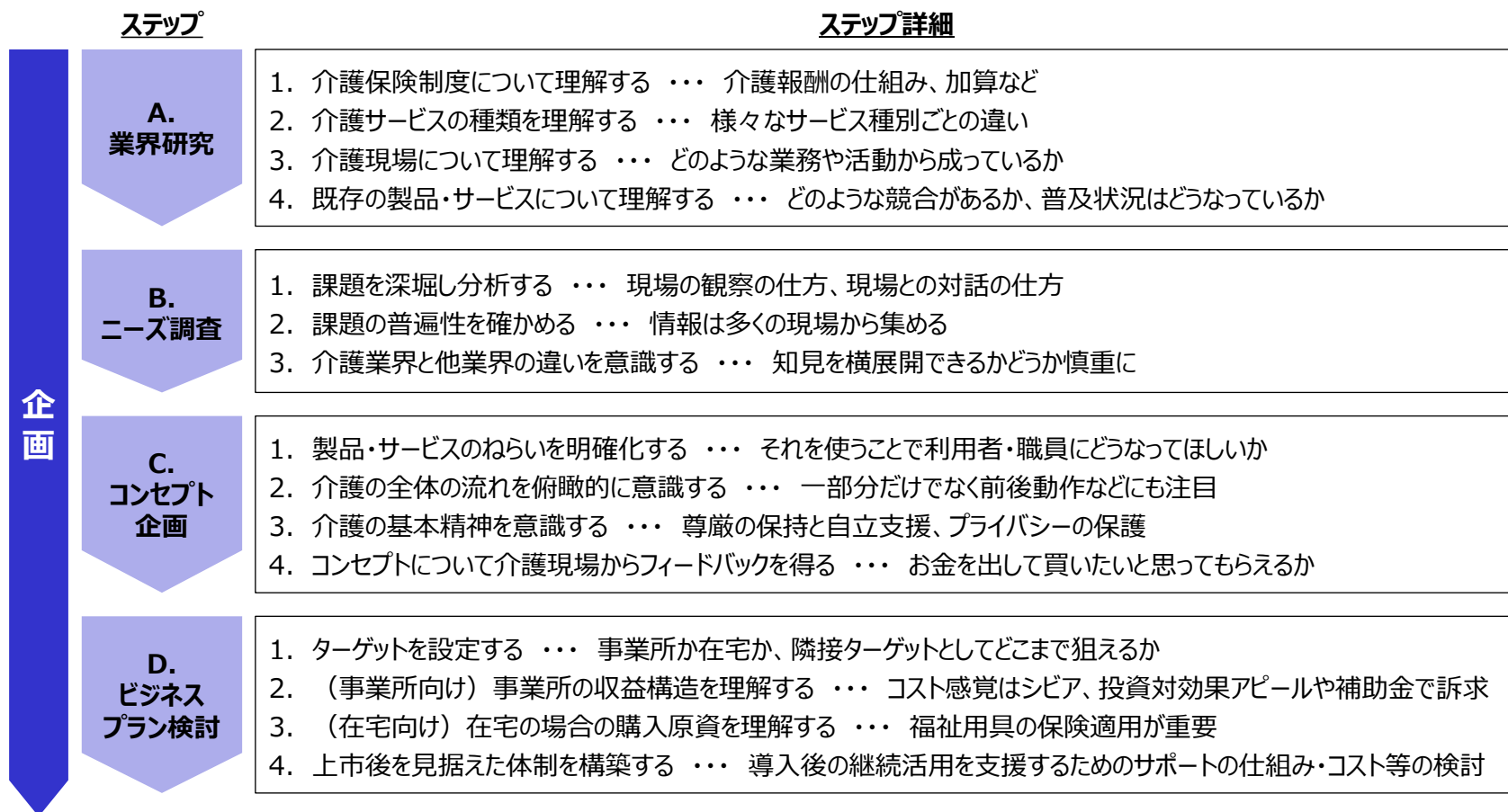
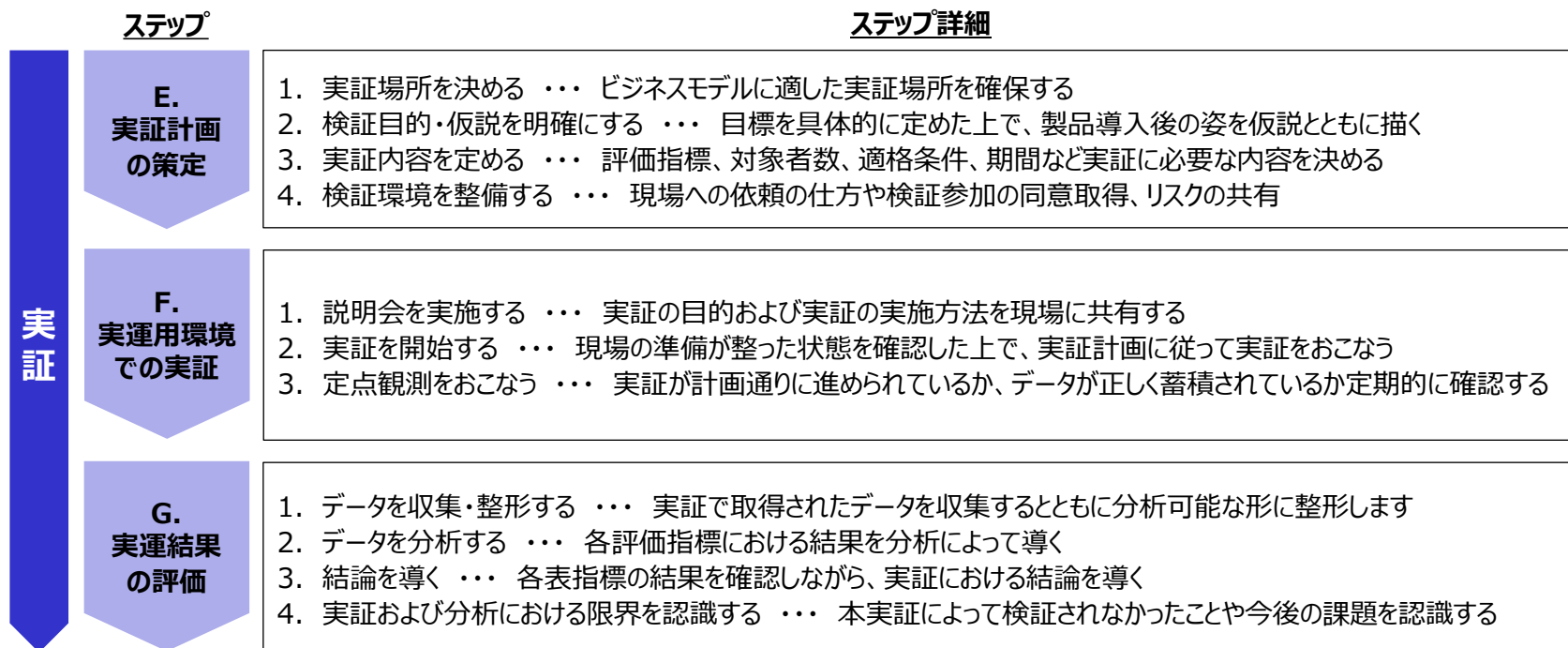


ケアテック開発事業者は「企画」と「実証」の工程を経て、サービスを開始いたします。  
以下の図は、「企画」工程で実施する主な内容をまとめたものです。



以下の図は、「実証」工程で実施する主な内容をまとめたものです。



実証終了後は、その結論を考慮して、次の工程となる「販売」に進めるかどうかを判断する。

## 情報提供

### A. 業界研究

✓ 弊社における資格・研修事業の担当者より、御社にマンツーマンで、制度知識や業界事情、介護現場の特徴等について講義を実施します。

### B. ニーズ調査

✓ 社会福祉法人善光会にて、複数名に半日～1日の介護現場体験機会を提供します。

✓ 上記の経験を基に得られた質問やニーズ仮説に社会福祉法人善光会の管理者よりインタビュー形式でお答えいたします。

## アドバイス・ディスカッション

### C. コンセプト 企画

✓ A、Bの工程と並行して、弊社メーカー支援担当者と定期的に打合せを実施します。打合せでは毎度、各工程を完遂するために必要な助言や提案を差し上げると共に、次回打合せに向けたTO DOを整理します。TO DO（各種申請や資料の作成等）は、事業者様に中心となって実施いただきます。

### D. ビジネス プラン検討

## ネットワーク紹介

### A~G. 適時

✓ 各工程において、弊社の専門領域とは別の支援リソースを必要とする場合、弊社の連携先機関を紹介いたします。

## 実証実行支援

### E. 実証計画 の策定

✓ C、Dの工程を基に、弊社が中心となって実証計画書および評価表を策定いたします。

### F. 実運用環境 での実証

✓ 実証計画に沿って、社会福祉法人善光会における実証現場の調整をいたします。なお、当該施設ではない場合も、ご希望あれば実証先の施設とのコミュニケーションをサポートいたします。

### G. 実運結果 の評価

✓ 集計データのクレンジングや専門的な統計処理等、必要な分析を実施した上で、実証結果を報告書にして提出いたします。